



信州鹿教湯温泉

至
上
田
市

21里山 21番

スタンプシート

第1番 温泉祖神



名所巡りの最初が、温泉祖神です。昔は文殊堂の守護神として山門までありました。祭神は恵比寿様と大黒様で、素朴な木彫りの像が小さな社の中に入っています。お祭りは11月20日です。



湯坂は別名「中気坂」とも呼ばれ、病氣療養の歩行運動で利用されています。中程を入れた共同浴場の前に、昔の「上の湯」と呼ばれた温泉の湯出跡があります。坂を下りると屋根付きの趣ある五台橋があります。



木樽に溜溝からの湯湯で、夏のみどり橋はまた別天地です。湯湯に添つて目を移すと、下流に見える巨大な岩石は、昔新緑と呼んだ快快な露天風呂の島です。また紅葉の季節には、織りなす錦が見事です。



木樽に溜溝からの湯湯で、夏のみどり橋はまた別天地です。湯湯に添つて目を移すと、下流に見える巨大な岩石は、昔新緑と呼んだ快快な露天風呂の島です。また紅葉の季節には、織りなす錦が見事です。



昔、この地で遅留した旅人が、夢枕で冬夜に御神の災難を告げられ、宿泊すると御告げのとおり家は焼失していましたが、旅人は家を再建。後年感謝の念を込めて、この地にお奉り致しました。今も当地では「火災除守護神」として崇められています。



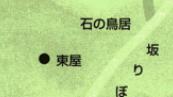
眼下に見える兩側の岩上に昔は吊橋を張っていて、現在は鹿教湯橋や県道ができるまでは、鹿教湯温泉への唯一の要路でした。どんな大木にも落矢したことがなく「万年橋」と呼ばれています。



木樽に溜溝からの湯湯で、夏のみどり橋はまた別天地です。湯湯に添つて目を移すと、下流に見える巨大な岩石は、昔新緑と呼んだ快快な露天風呂の島です。また紅葉の季節には、織りなす錦が見事です。



昔から前方に見える川沿いの平地は、町屋敷と呼ばれております。川を開拓して40年後、慶保元年に60戸を数える大集落となっていました。しかしその年の大洪水により一夜にして民家は流失、もの川原に返ってしましました。



ここから前方に見える川沿いの平地は、町屋敷と呼ばれております。川を開拓して40年後、慶保元年に60戸を数える大集落となっていました。しかしその年の大洪水により一夜にして民家は流失、もの川原に返ってしまいました。



明治時代に近隣の神社を統合、合祀し地域の氏神様として信仰を集め現在に至りました。江戸時代に作られた神室殿では、かつて武蔵守が奉納され貯め込んでいました。現存する回り舞台としては、わが国有数の古物で、貴重な文化財です。



ここから前方に見える川沿いの平地は、町屋敷と呼ばれております。川を開拓して40年後、慶保元年に60戸を数える大集落となっていました。しかしその年の大洪水により一夜にして民家は流失、もの川原に返ってしまいました。



ここから前方に見える川沿いの平地は、町屋敷と呼ばれております。川を開拓して40年後、慶保元年に60戸を数える大集落となっていました。しかしその年の大洪水により一夜にして民家は流失、もの川原に返ってしまいました。



昭和59年に完成した、県営の多目的ダムです。高さ52m、堤体の長さ150mのスケールで、鹿教湯湖と名づけられたダム湖は、四季折々、美しい景色を楽しむことができます。また、堤体の下は、公園になっていますので、名所めぐりコースとして整備されています。



この付近の地籍を「御殿」と呼んであります。由来は、真田家近親者の屋敷地であった所で、その跡を残す多くの石垣が残っております。また第4番名所「みどり橋」と夫婦橋となっており、夫婦での橋を渡ると幸せになると伝えられています。



この付近の地籍を「御殿」と呼んであります。由来は、真田家近親者の屋敷地であった所で、その跡を残す多くの石垣が残っております。また第4番名所「みどり橋」と夫婦橋となっており、夫婦での橋を渡ると幸せになると伝えられています。



この付近の地籍を「御殿」と呼んであります。由来は、真田家近親者の屋敷地であった所で、その跡を残す多くの石垣が残っております。また第4番名所「みどり橋」と夫婦橋となっており、夫婦での橋を渡ると幸せになると伝えられています。

お問い合わせ

鹿教湯温泉観光協会
長野県上田市鹿教湯温泉
0268(44)2331 FAX0268(45)3712